


書籍「地域金融機関の有価証券運用」を発刊しました

一般財団法人金融財政事情研究会より書籍「地域金融機関の有価証券運用」を発刊いたしました。

本書は、地域金融機関の経営における有価証券運用業務の位置づけを捉え直し、ミドルオフィスを含めた体制整備のあり方、人材育成のあり方、外部運用業者の活用方法などを提言、金融危機を受けて発展を遂げた最先端の運用手法、リスク管理手法をわかりやすく紹介した、地域金融機関の経営と有価証券運用業務に携わる者にとって必読のハンドブックです。



**地域金融機関の
有価証券運用**

オールニッポン・アセットマネジメント株式会社 [著]

資産運用における最先端の知見をあなたに!!

地域金融機関が生き残りをかけて有価証券投資に取り組むのであれば、資産運用の戦略立案、予兆・リスク管理などの知識が必須となる。銀行経営者と実務担当者は何を知っておくべきか？まずはこの待望の教本に目を通すことをお勧めしたい

本多俊毅
一橋大学大学院経営管理研究科 教授

地銀Asset Management
地銀アセットマネジメント

一般社団法人 **金融財政事情研究会**

オールニッポン・アセットマネジメント株式会社

地銀Asset Management
地銀アセットマネジメント

金融商品取引業者
登録番号 関東財務局長（金商）第 2904 号
加入協会
一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

〒103-0027
東京都中央区日本橋三丁目 2 番 5 号
毎日日本橋ビル 2 階
TEL 03-6262-5280（代表）

本件に関するお問い合わせは、投信業務部 03-6262-5283 までお願いいたします。

地域金融機関にとって、今や有価証券運用は貸出と並んで非常に重要な業務である。日本国債の利回りが長期に亘って低い状況が続き、誰もが海外資産に運用の場を求めなければならない状況が日常化する中であって、運用担当者やリスク管理担当者はもちろんのこと経営企画の人間もそれなりに海外市場や運用の知識が必要とされる。銀行経営者も、細かいことはさておき、運用資産や期待されるリターン、あるいは価格の変動リスクについてある程度の見識を持たないと、有価証券運用を銀行の持続可能な業務として位置付けることは困難となろう。

「多資産運用戦略」(マルチアセット戦略ないしバランス型運用とも呼ばれる)は読んで字のごとく内外の債券や株式等資産を全体として運用する手法であるが、運用の世界でこれだけ知られるようになってきたのに、その実務を解説した教本の類は日本では見かけない。金融機関にしてみれば、多資産運用戦略を行う運用会社に外部委託して、その結果さえモニタリングすれば良いということかもしれない。しかし地域金融機関の有価証券ポートフォリオを見ると、円債に加えて米国債や欧州債、あるいは内外株のETFというように多資産の様相を呈している。したがってこれらの多資産をどのように運用すればよいのか、もう少し些細に言うならば、どの程度の収益期待を持ち、どの程度のリスクを許容し、どのような資産をどの程度運用したらよいのか、運用の企画力が運用業務の鍵となる。別の言い方をすれば、多資産の運用全体を考えていく上での運用の設計図ないし実務的な枠組みを構築することが必要ではないだろうか。運用の実務担当者は、まずこの設計図を描くことから始めなければならない。一方、運用面だけにとどまらず、地域金融機関にとっては多資産運用に伴うリスクを管理する実務的な枠組みも必要になってくる。しっかりしたリスク管理態勢が無い状況で、地域金融機関がグローバルな運用を行っていくことは難しい。リスク管理の担当者は、運用設計図を見ながら、自らの金融機関にとってそれが許容できるものなのかどうかを判断できる枠組みを持たなければならない。

加えて、年金基金やファンド会社と異なり、地域金融機関には自己資本規制や期間損益など運用の制約となる条件も多い。そういう中であって、銀行経営者は運用とリスク管理のバランス、あるいはリターンとリスクの最適な関係を考慮しながら有価証券運用を推進する必要がある。このことは近年リスクアペタイトフレームワークという概念で整理されるようになってきた。

本書は地域金融機関の運用の実務、あるいはリスク管理の実務に携わる人から、経営企画で運用業務を担当する方まで幅広く読んでいただけるように意識して書かれた本である。各章で内容が概ね完結しているので、取り急ぎ多資産運用の実務だけ読みたい、あるいはリスク管理だけ読みたい、という方にも最適な構成となっている。また経営陣の方には、第1章、第6章、第9章の末尾に掲載している「経営からみる地域金融機関の有価証券運用の高度化」や、有価証券運用のガバナンスという点からリスクアペタイトフレームワークの章を優先する、というような読み方もしていただけるものと考えている。

弊社は地域金融機関の運用の多様化、高度化とそれに呼応したリスク管理の精緻化をサポートし、地域金融機関と共に歩み成長していくことを目指しており、その一環として本書が地域金融機関のさらなる発展の一助となれば幸いである。

オールニッポン・アセットマネジメント株式会社
代表取締役社長 竹内 洋

主要目次

- [第1章]地域金融機関の経営環境と課題
- [第2章]地域金融機関の市場部門の課題
- [第3章]地域金融機関の市場部門の高度化
- [第4章]資産運用の変遷
- [第5章]多資産運用の実務
- [第6章]多資産運用におけるリスク管理
- [第7章]複数の多資産運用戦略への投資とリスク管理
- [第8章]リスク予兆管理
- [第9章]リスクガバナンスとリスクアペタイトフレームワーク